

なら生協連 ニュース

No.11
93.7.20

奈良県生活協同組合連合会

奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコア苑村

☎(0742)34-3535

FAX(0742)34-0043

MYSTERY IN ASUKA PART-3

飛鳥には謎にみちた石造物が多い。それらは何かを私たちに語りかけてくる。しかしその意味はわからない。まさにミステリーである。



〈酒船石〉

飛鳥寺の少し南、左手の小高い丘の上に「酒船石」と呼ばれている石造物がある。この石の上で酒を造ったとか、油を絞ったとか、薬を造ったと言われているが正確な用途は分からない。

昨年5月、この丘陵北側の斜面で飛鳥時代の石垣の一部が見つかった。これは日本書紀の斉明天皇の項にある「山に石を累（かさ）ねて垣とす」という記述とも一致し、7万人を動員し、書紀も「狂心（たぶれごころ）」と書くほどの人民泣かせの大土木工事の遺構とみられている。またこの丘は本来の丘の上に10米余りも盛り土をして造っていた事も分かり、「酒船石」は斉明朝の重要な施設の一つではなかったかの疑いも出て来てまた一つ謎が深まった。だがその反面「酒船石」の謎の解ける日も早まったとも言えよう。



結婚したくなる 女性になりたいな



奈良女子大学 3回生 城戸 望

先日、皇太子様・雅子様がめでたくご結婚されました。このことをきっかけに、私の周りでは「結婚」についてみんなで話すことが多くなりました。昨今、「結婚しないかもしれない症候群」などという言葉も生まれ、独身を通す女性が増えていると言われていますが、私の周りはそのようなこととは無縁のようです。まじめに今年中に婚約して、来年に結婚しないと30歳までに子供を産み終われないとか、産休はどのくらいかなどと心配する友人を見てるからでしょうか。

奈良女子大生は一般に、キャリアウーマンになる人が多く、晩婚と言われてます。事実は事実ですが、それは全ての奈良女子大生が望んでそうなっているのではないのです。悲しいことですが、大学の名前で個人を判断されてしまうところがあるようなのです。ある他大学の友人に言わせると、大学のレベルが自分たちより上の国立の女子大の私たちには、近づき難いのだそうです。これも学歴偏重主義の被害なのでしょう。ほんとはたいした変わりはないと思うのですが。ただ結婚

などの場合、妻が夫より学歴が上というのは良くないとかうまくいかないと言われていたのも、関係あるのかもしれませんが。

でも最近の女性の社会進出を見ていると確かに、私が男だったら結婚したくなるような女性は減っているような気がします。男の人と同様に仕事をこなすようにはなりませんが、そのかわり女性らしさや女性だからこそといったものは、失われてしまったような気がするのです。〈男の人と同様に〉が、いつしか、〈まるで男の人のように〉になってしまい、単なる男の人の“まね”になってしまったようです。だからこそ、結婚しなくてもいいなんと言う女性が出てきたのかもしれませんが。

私は女性らしい考え、女性らしい仕事、女性だからこそ何かは必ずあると思います。

女だてらにとか、男みたいになんて言われないことをしたいです。そう、男の人のまね事は嫌です。そしてそうすることでより魅力的になって、早く結婚して、幸せになりたいな。

(こればかりは、相手あってのことですが。)

～ 奈良県93市民平和行進 ～

「核兵器と戦争のない平和な世界へ」

「なくそう、なくそう核兵器」今年も梅雨の中、93市民平和行進団が6月30日（水）に京都から般若寺に着きました。わかくさの会のあたたかいお茶で一服してから、大変な雨の中、元気に53日間歩き続けた、ならコープの坂本君を含め、23名の通し行進者の力づよいあいさつをうけ引継ぎ集会を行いました。

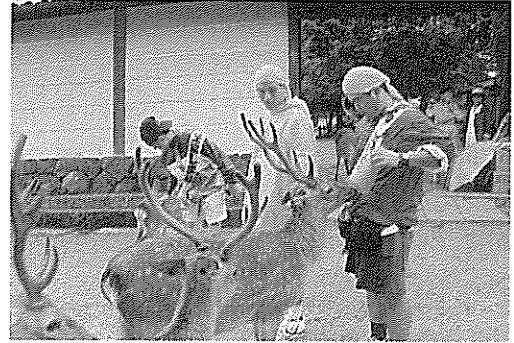
それから、商店街の三条通りを150名で行進して、ならコープの本部につきました。本部で交流したあと、奈良女子大生協で教育大の学生もふくめ、夕食交流を55名で行いました。

2日目は郡山城の近くの公園で会長の激励あいさつのあと、近鉄筒井駅を過ぎてコープいまごまで行進を行いました。この日は雨がお休みしてくれました。参加者は133名くらい、松葉杖で歩いてくれた人もいました。

3日目、また雨。三郷町コミュニティーセンターから王寺アリーナまで行進しました。参加者135名、奈良県の行進の終結集会を行い、大阪の柏原市役所前で大阪の組合員に引き継ぎました。大阪の集会は約1,500人もの人が集まっていました。



平和を願って歩きます



奈良公園も行進しました

平和の交流会

6月30日の平和行進のあと、6時位から奈良女子大生協で通し行進者と交流しました。参加者は実行委員、奈良女子大学生、奈良教育大学生など55人でした。木村陽子奈良女子大学生協理事長も参加して激励していただきました。たいへんおいしい食事とおしゃべりに大変満足しました。女子大生とのおしゃべりに毎日このような企画があればと言う通し行進者の声がありました。小林専務、疋田専務に感謝します。



女子大生協での交流会

奈良県生活協同組合連合会

第5回通常総会開催

—役員補充選挙がおこなわれました—



挨拶される繁田實造県連会長

奈良県生活協同組合連合会は、第5回通常総会を5月29日午後2時より共済会館やまと（奈良市）に於いて開催しました。

この総会には、来賓として奈良県民生部社会福祉課・山田雅章課長、南浦健係長、日生協関西地連・梶田義龍事務局長の参加を得、ご挨拶をいただきました。

総会は、本人出席10名、委任出席5名で、定数15名全員の出席で成立し、昨年度の活動報告・決算報告、今年度活動方針・予算案、役員補充選挙等の全議案が満場一致で可決・承認されました。

なお、第6号議案として「私たち生活者の力で地球環境、社会環境を浄化しましょう！」の特別決議が採択されました。

また、県連発足当初より県連役員として活躍された土田英二理事（おやさと生協）、落合豊行監事（女子大生協）が退任されたためおこなわれた役員補充選挙で、あたらしく上田久司理事（おやさと生協）、柴田博子監事（女子大生協）が選出されました。

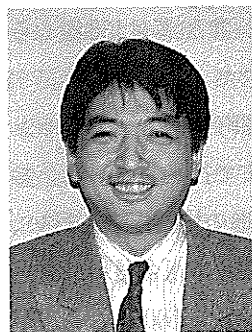
新しく就任された上田久司理事と柴田博子監事のプロフィールを紹介します。

（本人の原稿とおり）

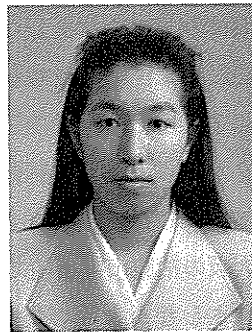
上田久司理事

昭和34年11月26日生まれ。出身は北海道空知群。高校の時から天理に住む。昭和58年に学校法人天理大学に就職。昭和61年からおやさと生協の事務局担当になる。平成2年県連結成と同時に事務局メンバーとして参加。

趣味は、多趣味にして悪趣味で色々やってきたが、現在はパソコン通信・レース観戦が一番の楽しみ。現在レース好きが高じて自分でも参加できるレースはないか物色中。



上田 理事



柴田 監事

柴田博子監事

昨年度1年間、奈良女子大学生協理事をさせていただいた御縁から、本年度同生協監事をさせていただくことになりました。学生時代から生協を利用してまいりましたが、昨年以來初めてその運営の場でお世話になり、未知の世界をのぞく面白さを味わいました。

未熟者ですが何卒よろしくお願い致します。

沖縄県の平和

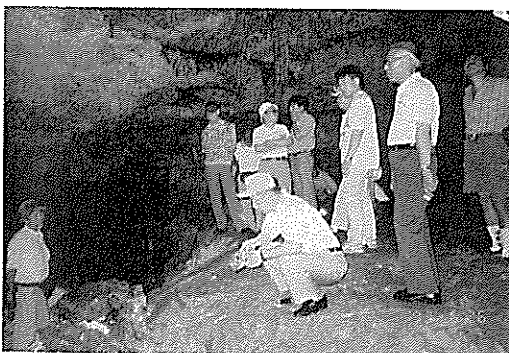
労済生協 中井 正道

いやぁ、行って来ました常夏の国「沖縄」へ。着いた時はちょうど梅雨が明けた二日目であり、ピリピリと肌を刺すような暑さを感じる第一歩でした。着いた日は午後4時を回っていたのにこの暑さです。二日目の研修が思いやられました。案の定私の感は的中し、宿泊しているホテルの窓に昨日とまったく同じ光が朝6時にさしているではありませんか。それでも気を取り直して朝8時には研修のバスに乗り込みました。今回は「戦跡」をめぐる「平和」を考えるというものでした。馬鹿な私は、ガイドさんも付いてくれて楽しい旅ができると思っていたのです。それがそれが私がガイドですと紹介された人は、髭をたくわえた老人。私は一瞬目がくらみ脳震盪をおこしそうになりました。まるで円錐型の笠をかぶれば「ベトコン」そっくりの人です。



魂の塔に花をたむける

しかし、その人は大変偉い先生で、話される一語一語に聞き入ってしまう事になります。沖縄というのは縦に千キロ、横に四百キロという島で今でも米軍基地があり戦争とかかわりを持っている所です。そして27年間も異民族支配を受け、その中で独自の文化を守り、発展、育ててきた所です。私も戦争の話は幼少より聞いてはおりますが、その先生の話聞いて本当の意味が理解できたような気がしました。沖縄の人は単なる思想信条によって「平和」を語っているのではないのだという事が。



糸数壕の内部・沖縄戦当時の状況を聞く



福祉にチャレンジ

～心ゆたかな協同のあるくらしを、奈良県のすみずみに～

7月5日(月) 中小企業会館で10:00から88人の参加で第4回奈良県生協大会を行いました。

来賓として奈良県民生部社会福祉課の出山課長の生協への励ましのあいさつをいただきました。今回から設けた、福祉・文化推進の部とリサイクル推進の部の功労者団体として、福祉サークル「あかずきんくらぶ」環境サークル「おしくまもみの木」に会長賞を贈りました。(賞金として5万円)

「福祉にチャレンジ」をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネリストは

- ・西谷道夫氏 (奈良県ボランティア連絡協議会会長・橿原市教育長)
- ・桂良太郎氏 (奈良大学社会学部助教授)
- ・南浦小糸氏 ((財)奈良県長寿社会推進センター事務局長)
- ・佐藤典治氏 (労済生協近畿地方本部副主幹)
- ・松岡桂子氏 (ならコープ福祉サークル「あかずきん」)
- ・大西康博氏 (奈良県社会福祉協議会地域福祉課 課長)

以上6名の奈良県下で福祉活動をすすめておられるオピニオンリーダーが揃いました。

瀧川専務理事がコーディネーターを行い、福祉活動の問題意識、会場からの3名の質問を受けてのパネルディスカッション、今後の活



6人のパネリストの先生方

動提起など1時間半という短時間の中で、行いました。感想文にも「将来の福祉についてお互いの考えを出され、とても有意義な話し合いで良かったと思います。」と書かれています。

最後に「ゆたかな地域福祉をめざして、生協の福祉活動を発展させよう！」のアピールを小林理事がよみあげ全員で確認しました。



福祉・文化推進会長賞受賞のあかずきんくらぶ

第1回奈良県協同組合デーのつどい

協同組合間の連帯を誓って記念すべき「つどい」

～6団体の代表が一堂に～



挨拶される高田昌彦委員長

奈良県協同組合連絡協議会が出来て初めての組合デーのつどいを7月5日に春日野荘でもち、農協、森林組合、生協の役員が60人参加しました。

主催者を代表して委員長の高田昌彦氏（奈良県四農業協同組合連合会会長）のあいさつ、来賓として農協の窓口の奈良県農林部農業経済課から杉山主幹、生協の窓口の奈良県民生部社会福祉課の中川主査、森

林組合の窓口の奈良県農林部林政課の西口主査に来ていただきました。そのあと委員紹介を副委員長の繁田實造氏（生協連合会会長）から行いました。テーマを「協同組合へ期待すること」で京都工芸繊維大学名誉教授の武内哲夫先生に1時間半講演をいただきました。協同組合デーの歴史、人間のあり用、人間尊重、人的結合など協同組合の基本的価値ともいえる組織活用型事業の発展の提言。協同組合間連帯の障害を取り除く、協同組合の強みと弱みの検討、教育の重視など辛口の生協人への提言がありました。

そのあと交流レセプションをおこない副委員長の北村又左衛門氏（奈良県森林組合連合会会長）のまとめのあいさつで終わりました。

● 会長賞授賞者にひとことインタビュー ●

〈あかぎんくらぶ〉 代表・高島久子

地域の中で出来たサークルで、自分たちの出来る範囲で楽しくやっている。主婦としての感覚でお互いに分かり合えることがよいと思う。

地域のお店ができたおかげで、自分たちの将来のためでもあり、友達もたくさんでき、喜んでいる。

「次、待ってます。」などと言われ、大変

喜ばれることが嬉しく励みになる。

〈おしくまもみの木〉 代表・内山節子

サークル結成2年目にして、こういう賞をいただいて心苦しく思うが、これを機に頑張っていきたい。

単にリサイクルだけと言うのではなく、身近な事をよく考えてすすめていきたい。

－ 広がる協同・くらしの輪 －

○ 「消費者月間」 シンポジウム

5月21日、奈良県文化会館において、奈良県主催の消費者月間記念シンポジウムが行われました。

「くらしの安全・心のゆとり」がテーマで、「食生活を見直す」という観点から森山忠重氏（桜井女子短期大学教授）、「製品安全の現状と課題」については木下武氏（製品安全協会大阪支所長）、「消費者相談の現場から」と題して野口睦氏（奈良県生活科学センター所長）らのパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

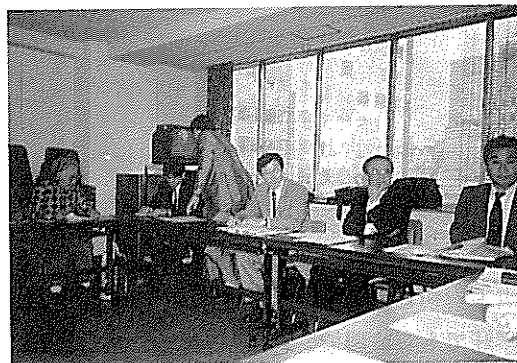
コーディネーター兼パネリストとして生活評論家の三輪昌子氏が、「人生80年時代の生活設計」について話されました。

私たちの身近な問題であり、今後の生活を見直す指針になったように思われます。



奈良県知事公室室長より挨拶

○ 食品の日付表示に関する懇談会



農林水産省の方たちとの懇談

5月21日、大阪府立消費生活センターで農林水産省食品流通局食品表示対策室の林田室長から「国際的にも、EC及び米国から製造年月日表示を見直し、賞味期限表示への統一を図るべきだとの声が寄せられており、JAS法に基づく品質表示基準を作成する際にGATTにおいて義務付けられている国際的な調整が困難な場合も生じている。」ことが説明され、大阪、京都、滋賀、奈良から集まった関西消費者連絡協議会懇談会のメンバーからは「消費者として安心・安全からも、生活習慣からも製造年月日は残すべきだ、賞味期限と併記すべきだ」という意見を伝えました。

○ 第1回奈良県環境問題フォーラム



コーディネーターとパネルの方々

奈良県主催で6月23日奈良県新公会堂の能楽ホールで行われました。会場は座る場所もない人の参加で奈良県のごみ問題の深刻さを伺えました。生協県連からも11名が参加しました。

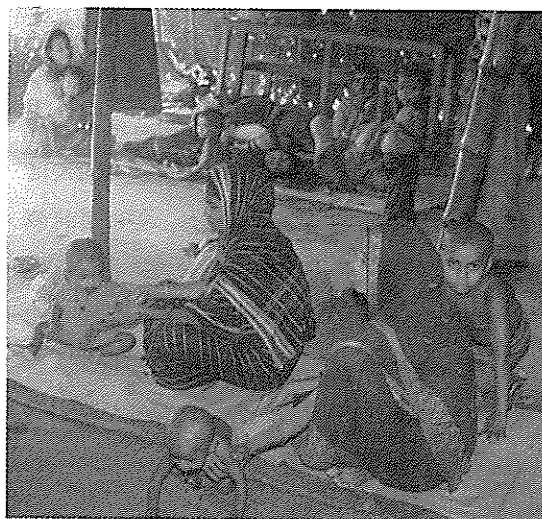
「環境にやさしい暮らしとリサイクル」をテーマに関西大学教授 和田安彦氏の講演があり、そのあとパネルディスカッションとして吹田市のリサイクルセンターづくり、あやめ池の生活学校の取組みなど具体的なとりくみを入れた報告がありました。

○ 公衆電話値上げ問題

6月16日 大阪に郵政省電気通信局電気通信事業部業務課の菊池課長補佐が来られて、NTTの17年ぶりの値上げ理由を説明されました。今年の10月にまず10円で1分半、来年の4月から1分とする内容です。このままいけば市内通話などの値上げも考えられます。9月8日に「電話料金値上げ問題学習会」を予定します。しっかり参加して声を出しましょう。

○ アース基金

生協連合会がアース基金協会に加入しました。アース基金は「地球環境を守る途上国住民への援助」と「地球環境を守るための研究活動への補助」を目的に活動します。組合員さんのカンパ、入会（入会金2,000円、年会費3,000円）を募集しています。不用品バザーなどの収益などを寄せて下さい、また、環境のとりくみについての問い合わせも遠慮なくして下さい。



地球を大切にしてください。

それは親から授かったものではありません。
地球は子や孫から預かっているものなのです。

(ケニヤに伝わる言いつたえ)



奈良女子大学生協

奈良女子大学生協の第25回通常総代会は、5月28日（金）の午後4時45分より大学内の教室を借りて開催された。実出席は昨年より10名以上も多く51名の参加でした。議事運営は、大学生協らしく1～2回生の学生を中心に行われ、理事会の報告も学生の取り組みについては学生理事が行うなど若々しい総代会でした。

また、討議は6名の学生総代から発言があり、ロッカーの鍵の販売、弁当やおにぎりの加温設備の設置、菓の販売、CDレンタルの実施、食堂をオープンガーデン方式に変更などの要望がだされ、図書券での書籍の購入についての質問が寄せられました。更に事前の総代会議でも多くの声が寄せられており、専務理事がまとめのなかでその声についても総代のみなさんに報告しました。総代会は、最後に役員の改選を行い、新しい理事を選出し終了しました。

第一回理事会では、理事長に家政学部の木村陽子先生を、専務理事に小林利幸氏を引続き選出しました。

（小林専務理事）



労済生協

総代会に向けて、恒例の「地区集会」を行いました。6月7日～10日に県内3ヶ所において4回の集会を行い、来る7月28日の総代会に向けて、年度総括や方針討議を活発に行いました。よってこれからは、労済生協としては総代会議案作りや総代会対策に追われていくことになります。

活動としては、この6月から新年度に入っておりますので、本年度も「事業拡大」を最優先課題として各種活動を開始しております。そのひとつは、終身共済やねんきん共済のように長期にわたる共済の拡大です。5月の連休明けに新聞折込みを行い、その結果として、857名の方が資料を送ってほしいとか、詳しい話が聞きたいとかで要請を受けております。この分を消化していくために毎日対応に走り回っております。

親子ふれあいウォークラリーを実施!!
去る5月2日に前述のイベントを実施し、350名の親子が参加され、連休の一日を楽しくすごしました。毎年の事ですが、最後のゴールまで到着された方には参加賞なり賞品（粗品）を渡し大変好評を得ております。この事は毎年続けていきますので皆様方も是非ご参加下さい。特に普段運動不足がちのお父さんにはお勧めコースです。

（中井事務局次長）

ならコープ

5月27日(木)ならコープの第20回通常総代会が、奈良県文化会館大ホールで開催され、本人出席 364名、委任出席 113名、合計 477名(定数 500)が参加し、発言者は3名、提案議案は、賛成多数ですべて可決されました。

4月から6月の主な活動としまして、環境分野では、4/15カートクラブ総会が開催(58名参加)され、4/25にはアースデー(秋篠川 144名・高取川 161名参加)が取組まれました。また、6/4には環境サークル交流会(67名参加)が、持たれました。5/1からペットボトルの実験回収もコープおしくまで始まりました。

福祉分野では、4/26たすけあい総会(51名参加)が持たれ、6/15・18日赤看護講習会(28名参加)が、コープ六条で開講されました。

平和分野では、4/19平和の会総会(50名参加)がコープ六条で持たれました。5/3には、通し行進者(坂本さん)の送り出し集会(141名参加)が行われ、6/26・27コープみみなしで平和展(175名参加)が、開催されました。

生活文化分野では、5/14上條恒彦コンサート(608名参加)を開催し、5/18公開講演会(吉岡たすく氏・850名参加)が行われました。あと、史跡めぐり・歩く会・こども料理教室・テニス大会・親子自然観察・絵本入門講座・くらしの講座・コープスクールと行われました。

(組合員活動部 山本)

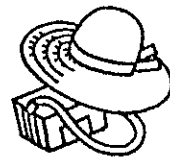
アースデー

地球規模で環境問題を考える日(アースデー)に、今年も、4月25日高取川と秋篠川の2か所でごみ拾いハイキングを行いました。

秋篠川では、COD調査、水生生物調査を行い、鯉の放流をしました。

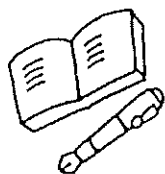
高取川でも、鯉のぼりの吹き流しと鯉の放流をしました。

参加者は共に約150名あり、親子連れの参加が目立ちました。川もすっかりきれいになり、春の1日いい汗かきました。



第25回近畿清掃登山

6月6日に清掃登山がありました。奈良県だけでも5つのコースがあります。奈良県生協連も共催金を出しました。また、天理の龍王山コースにも参加しました。43人で登山道のごみを頂上までひらってあるきました。大和平野を見ながらの昼食はたいへんおいしく来年はもっと仲間を誘いたいと思いました。



4/26 第9回関西地連総会

5/12 桜井市農業研究会総会
アース基金理事会

5/13 第6回理事会
行政・生協協議会

5/14 監事会

5/21 「消費者月間」記念シンポジウム
関消懇（農林水産省食品日付懇談会）
NTT電話料金値上げ問題

5/24 奈良県協同組合連絡協議会事務局会議

6/3 第1回理事会
理事長懇談会

6/23 奈良県環境フォーラム

6/25～27事務局研修（沖縄県連）

7/5 第4回奈良県生協大会
第1回奈良県協同組合デーのつどい

家族みんなが楽しい

第6回協同組合フェスティバル

日時 10月24日（日）（予定）
10:00～15:00

会場 奈良県競輪場駐車場
（近鉄平城駅下車 徒歩5分）

テーマ 「安心・安全・リサイクル」

規模 3万人

催し物 リサイクル不用品バザー
ソーラーカーの展示など
模擬店
こども広場
ステージ

主催 ならコープ

共催 奈良県生協連
協同組合連絡協議会



楽しく愉快のステージ